

夏は流星群を見よう！

8月11日(日)から13日(火)頃にかけて、毎年たくさんの流れ星を見せてくれる「ペルセウス座流星群」がやってきます。

今年のペルセウス座流星群は、8月12日(月・振休)の23時頃に極大になると予想されます。なお、最も多く流星が見られるのはペルセウス座が高く昇る13日(火)の夜明け近くと予想されます。

ペルセウス座の近くには、赤っぽく輝く火星やひと際目を引く木星など、明るい星たちも輝いています。



©StellaNavigator/AstroArts

みんなで空を見上げて
SNSでつぶやこう！
ハッシュタグは…
#空プロ宮崎
#宮崎科学技術館

 Instagram

 Facebook

自由研究にもピッタリ！

上図は13日(火)午前3時の星空です。“北東”にペルセウス座が昇ってきています。カシオペア座のきれいな星ならび(アルファベットのW)を目印に北東方向を見上げると「ペルセウス座」を見つけられます。漢字の“人(ひと)”という字に似た星ならびがペルセウス座を見つけるヒントです。

流星群の流れ星は、放射点を中心に放射状に出現します。つまり、夜空のどこにでも流れ星は出現します。でも、周りをキョロキョロしてしまうと流れ星を見逃してしまいます。1つの場所を決めたら、根気強く1点を眺めてくださいね！ さあ、夏の夜空に願い事をしに出かけてみませんか！？ レッツゴー♪

宮崎市内の星空スポット



①高岡町 瓜田ダム



②青島(白浜)



③堀切峠



④平和台公園

マナーを守って、
利用しよう！

〔流星群解説〕



<流れ星って…！？>

星空を眺めていると、ときどき星がスーッと流れることがあります。砂粒(1mmから数cm)ほどの小さな天体が地球の大気に飛び込み、プラズマ化したガスが明るく光る現象です。これを一般に「流星(流れ星)」と呼んでいます。流れ星が光っているのは地上から約100km~200kmくらいで、消えてなくなるのは70km~90kmくらいです。



写真:2018年12月15日撮影(場所:田野町総合運動公園)

<火球って…！？>

特に明るい流れ星は”火球(かきゅう)”と呼ばれます。上の写真の右側に明るく光るのが火球です。

そして、大きな火球になると燃えつきずに地上に落ちてくる場合があります。これが「隕石(いんせき)」です。

なお、流れ星の中には、流れた経路に沿って淡い跡を残す場合があります。これを「流星痕(りゅうせいこん)」と呼んだりします。

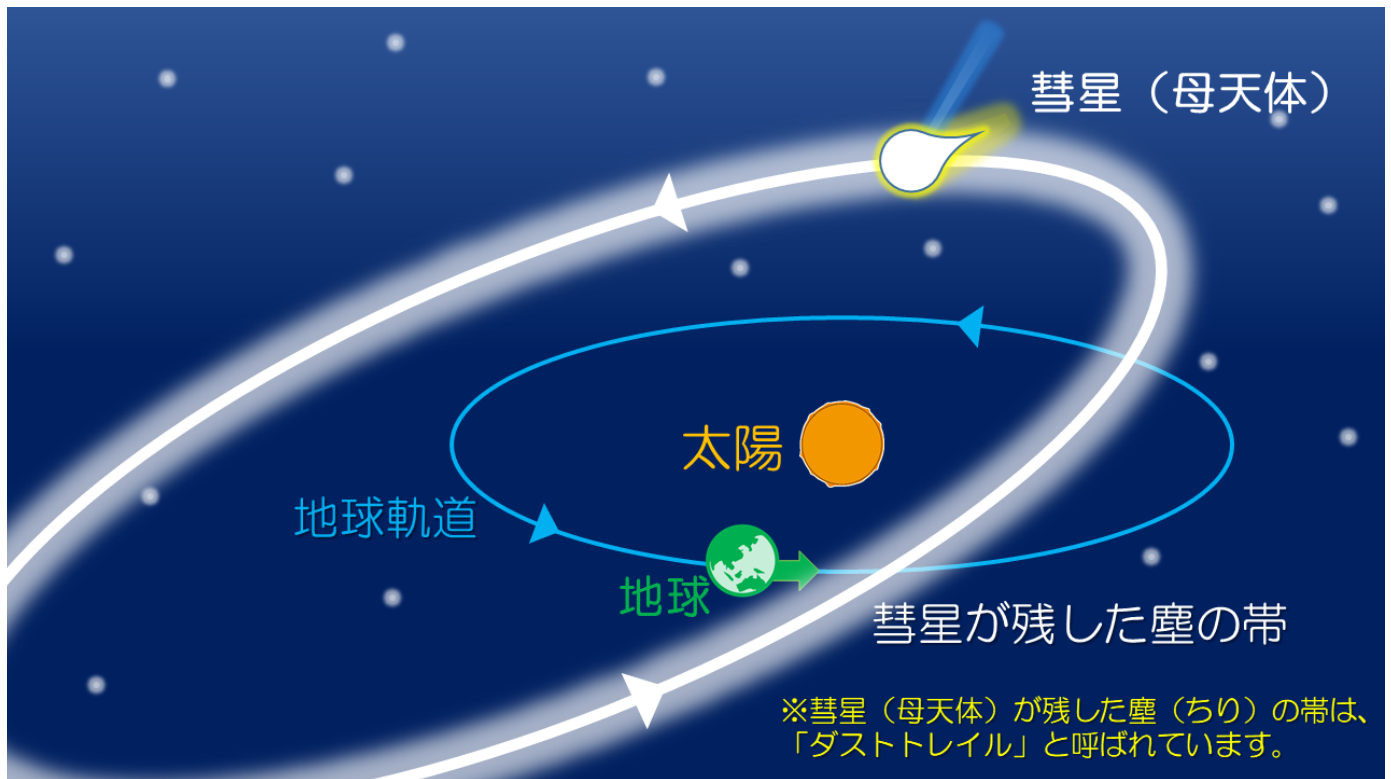
〔流星群解説〕



<流れ星のもと”塵(ちり)”はどこからくるの! ?>

流れ星は宇宙の塵(ちり)だと言いましたが、いったいどこからやってくるのでしょうか?ここでは流星群の塵についてご紹介しましょう。

実は、流星群には塵(ちり)を運んでくる”彗星(すいせい)(別名:ほうき星)”と呼ばれる天体が存在します。下図のように彗星が通った後にはたくさんの塵がばらまかれています。そこに、私たちの暮らす地球が飛び込んでいくと一度にたくさんの塵(ちり)が地球の大気に飛び込んでくるためにたくさんの流れ星、つまり流星群となって見えるというわけです。



<いろいろな流星群>

毎年ほぼ安定して多くの流れ星が出現する3つの流星群「しぶんぎ座流星群(1月)」「ペルセウス座流星群(8月)」「ふたご座流星群(12月)」は、「三大流星群」と呼ばれています。

「流れ星」の仕組みを理解して、実際の空を見てみると、観察がもっと楽しくなりそうじゃの~♪



「ペルセウス座流星群」をしてみよう☆

【2024年 おすすめの観察日時】

- ☆☆☆☆ 8月11日の22時頃から翌12日の夜明けまで
- ☆☆☆☆ 8月12日の20時頃から22時頃まで
- ☆☆☆☆ 8月12日の22時頃から翌13日の夜明けまで
- ☆☆☆☆ 8月13日の20時頃から翌14日の夜明けまで

2024年

8月	↓日付	時刻→	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6
ペルセウス座流星群	11日/12日	流星群活動	オススメ														
		月	月あり														
	12日/13日	流星群活動	極大 特にオススメ!														
		月	月あり														
	13日/14日	流星群活動	オススメ!														
		月	月あり														